

福井県の推計人口

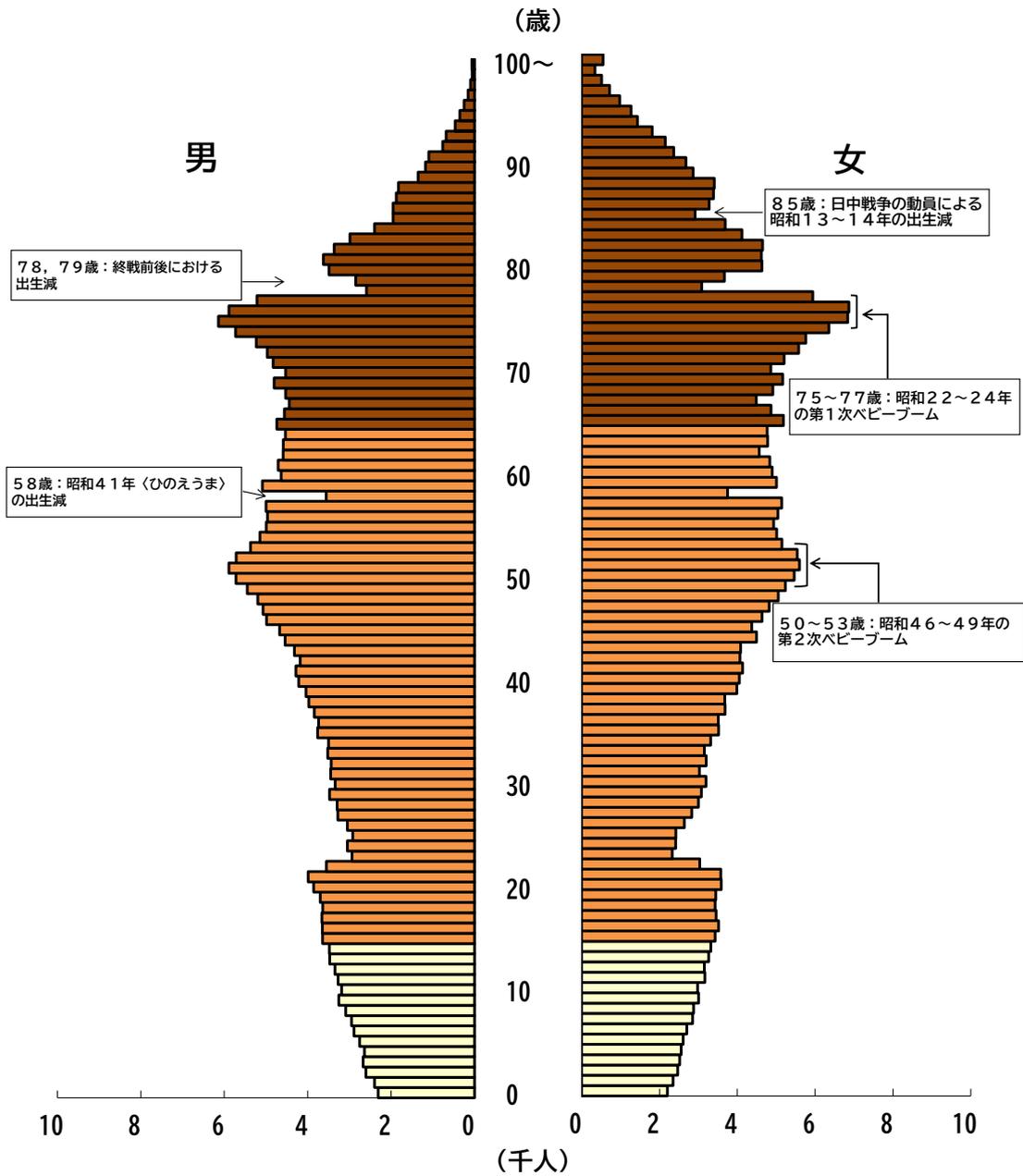
令和6年10月1日現在

(令和5年10月から令和6年9月までの動向)

令和7年2月

福 井 県

参考 福井県の人口ピラミッド（令和6年10月1日現在）



利用上の注意

人口および世帯数は、各年10月1日現在の数字であり、国勢調査実施年についてはその結果を、それ以外の年については、国勢調査の結果にその後1年間の自然増減数（出生数－死亡数）および社会増減数（転入者数－転出者数）を加えたものを掲載しています。

目 次

概 要

1	福井県総人口	1
	(1) 自然動態(出生・死亡)	1
	(2) 社会動態(転入・転出)	1
2	年齢・男女別人口	7
	(1) 年齢(5歳階級)別人口	7
	(2) 年齢(3区分)別人口	8
3	世帯数	9
4	市町人口	10
	(1) 人口増減	10
	(2) 自然動態	11
	(3) 社会動態	12
	(4) 人口密度	12
	(5) 年齢(3区分)別人口	13
	(6) 世帯数	14
5	外国人人口	15
	利用者のために	16

統 計 表

表 1	市町別人口および世帯数
表 2	人口の推移
表 3	自然動態の推移
表 4	社会動態の推移
表 5	市町別自然動態・社会動態数
表 6	市町別人口の年別推移
表 7	市町別出生数の年別推移
表 8	市町別死亡数の年別推移
表 9	市町別県内転入者数の年別推移
表 10	市町別県内転出者数の年別推移
表 11	市町別県外転入者数の年別推移
表 12	市町別県外転出者数の年別推移
表 13	市町別世帯数の年別推移
表 14	市町別県内移動者数
表 15	市町別・従前の住所地(都道府県)別県外転入者数
表 16	市町別・転出先の住所地(都道府県)別県外転出者数
表 17	年齢別・従前の住所地(都道府県)別県外転入者数
表 18	年齢別・転出先の住所地(都道府県)別県外転出者数
表 19	市町別各種指標
表 20	市町別・年齢(3区分)別人口
表 21	市町別・年齢(5歳階級)別人口
表 22	市町別・年齢別・男女別人口

概要

1 福井県総人口 738,691 人（令和 6 年 10 月 1 日現在）

本県の総人口は、令和 6 年 10 月 1 日現在 738,691 人となり、令和 5 年 10 月 1 日から令和 6 年 9 月 30 日までの 1 年間に 5,877 人減少した。

全国総人口は 12,379 万人（総務省「人口推計」令和 6 年 10 月 1 日現在概算値）となり、本県人口の占める割合は 0.60% である。また、本県の面積は 4,190.57 km²（国土地理院「全国都道府県市区町村別面積調」令和 6 年 10 月 1 日現在）であり、人口密度は 1 km² 当たり 176.3 人である。

人口は昭和 46 年以降増加傾向が続いていたが、平成 12 年以降は減少に転じ、令和 6 年は前年と比べ $\Delta 0.79\%$ と、25 年連続の減少となっている。

(1) 自然動態（出生・死亡）

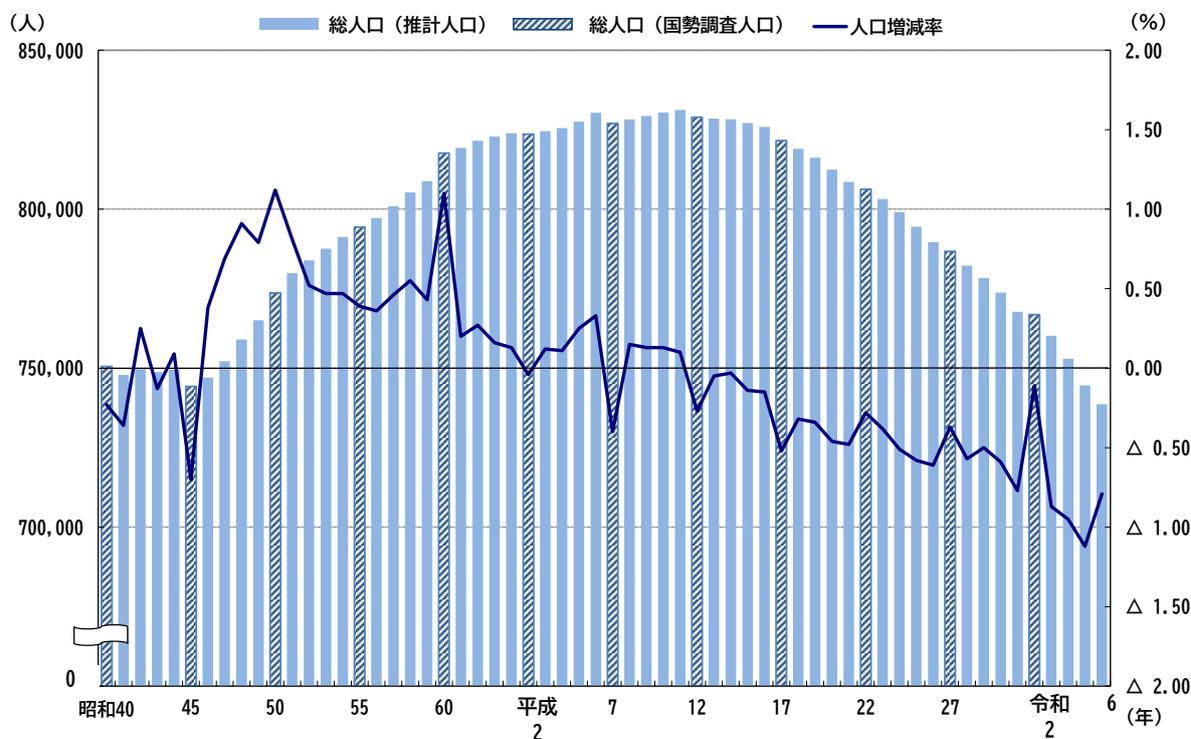
出生数は 4,528 人となり、前年と比べ 210 人の減少となった。第 2 次ベビーブーム期の昭和 48 年以降減少傾向が続いている。

死亡数は 10,580 人で、前年に比べ 104 人の減少となった。この結果、自然増減数は 6,052 人の減少となり、平成 16 年以降 21 年連続の減少となっている。

(2) 社会動態（転入・転出）

令和 6 年の県外転入者は 15,446 人、県外転出者は 15,271 人となっており、この結果 175 人の社会増加となった。社会動態は、昭和 25 年以降ほぼ一貫して減少の傾向にあり、平成 13 年以降社会減少が続いていたが、24 年ぶりに社会増加に転じた。県外転入で最も多いのは石川県の 1,422 人であり、次いで愛知県 1,175 人、大阪府 946 人となっている。また、県外転出で最も多いのは石川県の 1,543 人であり、次いで大阪府 1,500 人、東京都 1,473 人となっている。

図1 総人口・人口増減率の推移（昭和 40 年～令和 6 年）



(注) 国勢調査年については国勢調査人口におきかえており、国勢調査人口が推計人口と乖離がある場合、人口増減率の変動が大きくなる。

表1 人口の推移（平成元年～令和6年）

（単位：人、％）

区分	総人口	人口増減数	人口増減率	自然増減数	社会増減数	外国人数
平成元年	823,943	1,087	0.13	3,044	△ 1,957	***
2※	823,585	△ 358	△ 0.04	2,430	△ 1,453	5,257
3	824,581	996	0.12	2,355	△ 1,359	5,888
4	825,515	934	0.11	2,028	△ 1,094	6,588
5	827,560	2,045	0.25	1,673	372	7,379
6	830,317	2,757	0.33	2,086	671	7,848
7※	826,996	△ 3,321	△ 0.40	1,732	681	7,593
8	828,249	1,253	0.15	1,733	△ 480	7,886
9	829,344	1,095	0.13	1,346	△ 251	8,548
10	830,429	1,085	0.13	1,419	△ 334	9,091
11	831,222	793	0.10	1,135	△ 342	9,681
12※	828,944	△ 2,278	△ 0.27	1,287	276	9,861
13	828,502	△ 442	△ 0.05	1,070	△ 1,512	9,957
14	828,285	△ 217	△ 0.03	892	△ 1,109	10,389
15	827,110	△ 1,175	△ 0.14	409	△ 1,584	10,740
16	825,880	△ 1,230	△ 0.15	△ 39	△ 1,191	11,252
17※	821,592	△ 4,288	△ 0.52	△ 444	△ 1,267	10,803
18	818,975	△ 2,617	△ 0.32	△ 596	△ 2,021	10,733
19	816,198	△ 2,777	△ 0.34	△ 500	△ 2,277	10,665
20	812,479	△ 3,719	△ 0.46	△ 894	△ 2,825	10,241
21	808,589	△ 3,890	△ 0.48	△ 970	△ 2,920	9,377
22※	806,314	△ 2,275	△ 0.28	△ 1,461	△ 1,910	10,562
23	803,216	△ 3,098	△ 0.38	△ 1,885	△ 1,213	10,311
24	799,127	△ 4,089	△ 0.51	△ 1,990	△ 2,099	9,929
25	794,492	△ 4,635	△ 0.58	△ 2,332	△ 2,303	9,589
26	789,633	△ 4,859	△ 0.61	△ 2,626	△ 2,233	9,467
27※	786,740	△ 2,893	△ 0.37	△ 2,496	△ 1,773	9,971
28	782,232	△ 4,508	△ 0.57	△ 2,913	△ 1,595	9,836
29	778,329	△ 3,903	△ 0.50	△ 3,468	△ 435	10,986
30	773,731	△ 4,598	△ 0.59	△ 3,588	△ 1,010	11,988
令和元年	767,742	△ 5,989	△ 0.77	△ 3,865	△ 2,124	12,436
2※	766,863	△ 879	△ 0.11	△ 3,866	△ 1,197	14,845
3	760,209	△ 6,654	△ 0.87	△ 4,504	△ 2,150	13,796
4	752,976	△ 7,233	△ 0.95	△ 5,159	△ 2,074	14,223
5	744,568	△ 8,408	△ 1.12	△ 5,946	△ 2,462	14,267
6	738,691	△ 5,877	△ 0.79	△ 6,052	175	16,745

【※は国勢調査結果】

（注）※年の総人口については、国勢調査人口におきかえており、前年の推計人口に自然増減数および社会増減数を加えた数値とは一致しない。

図2 自然増減数・社会増減数（平成元年～令和6年）

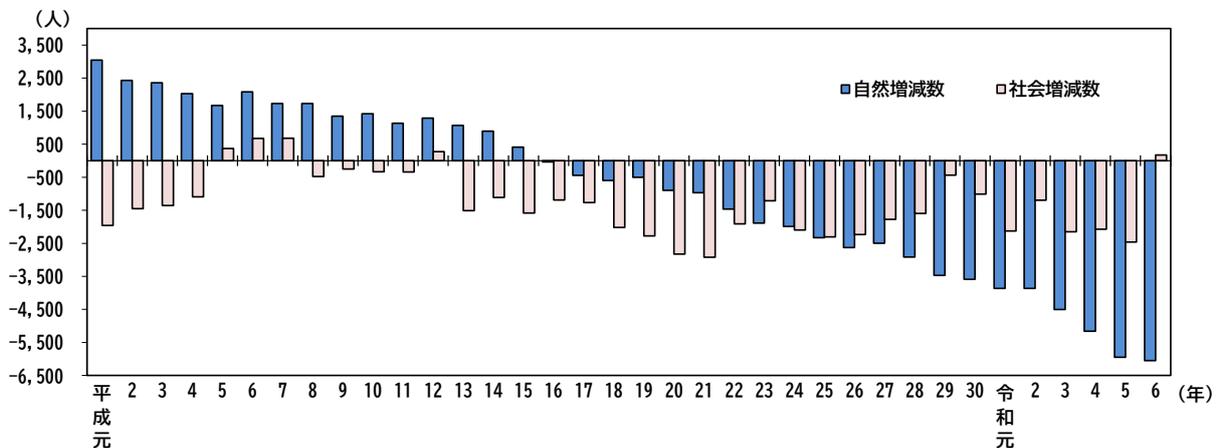
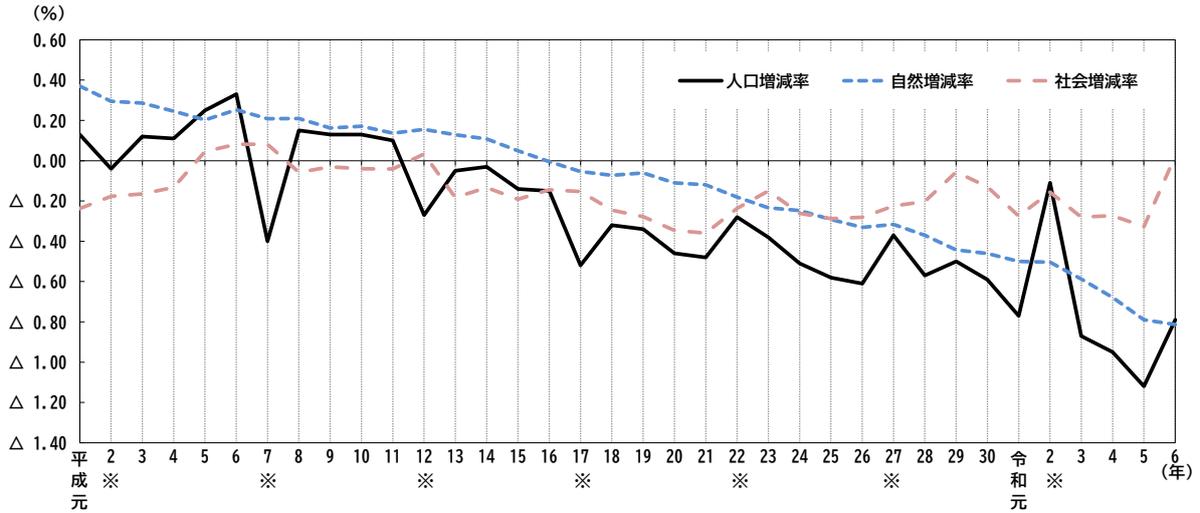


図3 人口増減率・自然増減率・社会増減率（平成元年～令和6年）



（注）国勢調査年の人口増減率は、国勢調査人口をもとに算出しているため、自然増減率と社会増減率の合計とは一致しない。
 【※は国勢調査結果】

図4 出生数・死亡数・転入者数・転出者数（平成元年～令和6年）

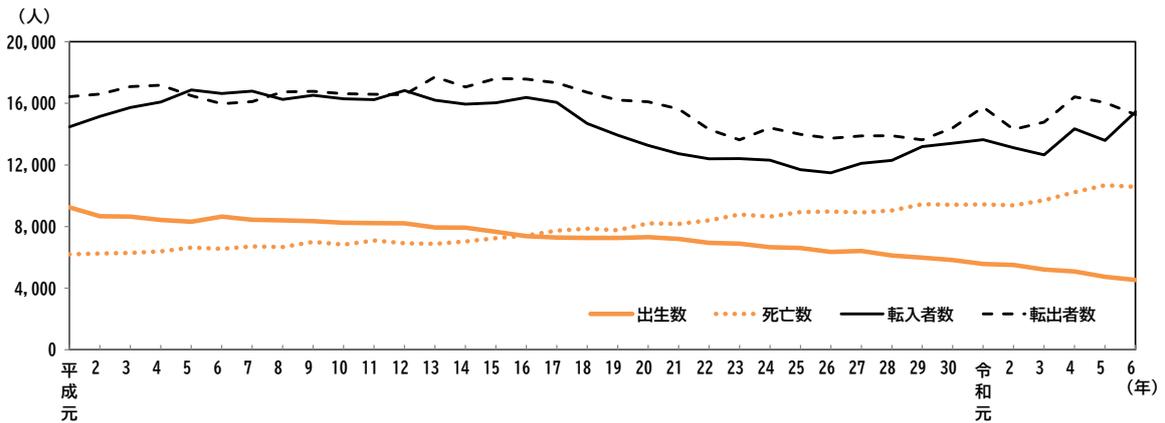


図5 総人口の推移（令和5年10月～令和6年10月）

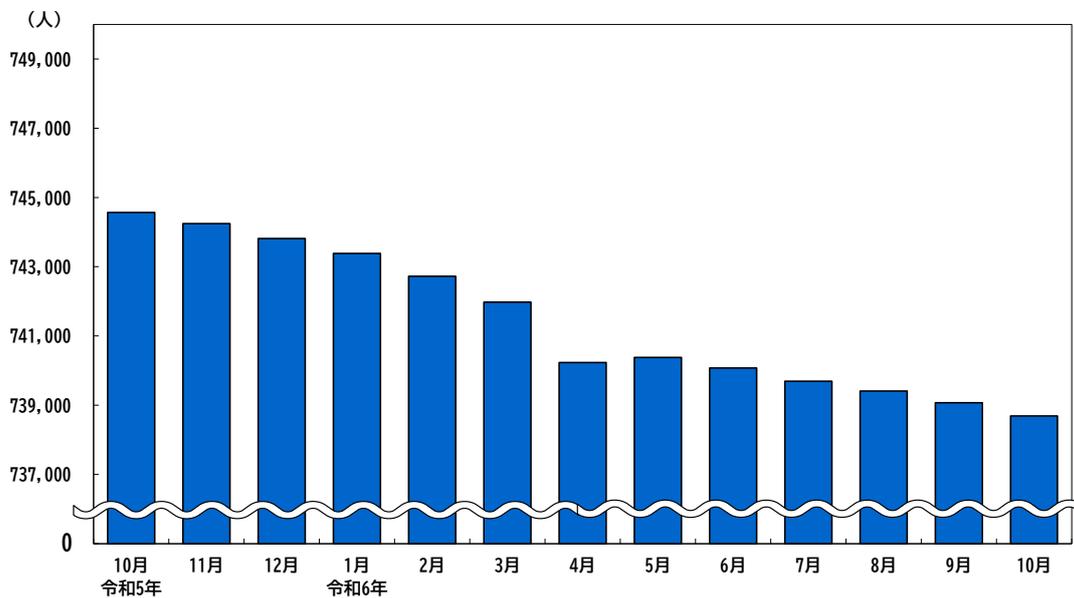


表2 月別人口・移動者数（令和5年10月～令和6年10月）

（単位：人）

月	人口	人口増減	自然増減	出生	死亡	社会増減	県外転入	県外転出
令和5年 10月	744,568	△ 321	△ 535	388	923	214	1,194	980
11月	744,247	△ 434	△ 507	404	911	73	979	906
12月	743,813	△ 427	△ 453	360	813	26	978	952
令和6年 1月	743,386	△ 663	△ 680	403	1,083	17	974	957
2月	742,723	△ 747	△ 674	360	1,034	△ 73	1,027	1,100
3月	741,976	△ 1,744	△ 560	369	929	△ 1,184	2,635	3,819
4月	740,232	146	△ 445	401	846	591	2,183	1,592
5月	740,378	△ 302	△ 438	383	821	136	1,114	978
6月	740,076	△ 381	△ 390	339	729	9	953	944
7月	739,695	△ 284	△ 452	387	839	168	1,196	1,028
8月	739,411	△ 339	△ 418	387	805	79	1,097	1,018
9月	739,072	△ 381	△ 500	347	847	119	1,116	997
10月	738,691	-	-	-	-	-	-	-
総 数		△ 5,877	△ 6,052	4,528	10,580	175	15,446	15,271

（注）「人口」は各月1日現在、「人口増減」「自然増減」「出生」「死亡」「社会増減」「県外転入」「県外転出」は各月中の数

図6 月別自然増減数・社会増減数（令和5年10月～令和6年9月）

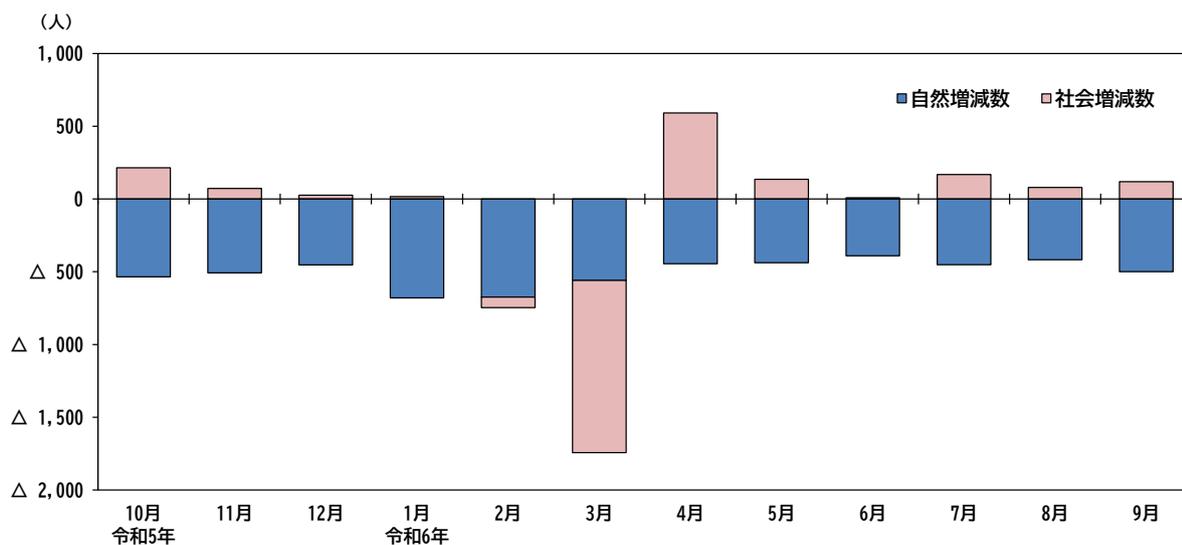


表3 5歳階級別移動者数（令和5年10月～令和6年9月）

（単位：人）

歳	出生			死亡			県外転入			県外転出		
	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女
0～4	4,528	2,317	2,211	10	5	5	576	299	277	624	342	282
5～9	—	—	—	3	0	3	277	144	133	298	165	133
10～14	—	—	—	4	1	3	163	81	82	147	73	74
15～19	—	—	—	6	5	1	886	441	445	817	438	379
20～24	—	—	—	9	4	5	3,627	2,042	1,585	4,066	2,152	1,914
25～29	—	—	—	15	10	5	3,269	1,794	1,475	3,115	1,694	1,421
30～34	—	—	—	13	11	2	2,070	1,204	866	1,928	1,133	795
35～39	—	—	—	31	19	12	1,282	729	553	1,213	659	554
40～44	—	—	—	33	18	15	912	536	376	788	469	319
45～49	—	—	—	71	43	28	713	447	266	633	387	246
50～54	—	—	—	121	83	38	627	386	241	564	340	224
55～59	—	—	—	151	112	39	394	271	123	359	231	128
60～64	—	—	—	219	156	63	212	139	73	211	131	80
65～69	—	—	—	381	268	113	133	70	63	145	89	56
70～74	—	—	—	801	578	223	100	49	51	121	57	64
75～79	—	—	—	1,041	674	367	65	28	37	74	28	46
80～84	—	—	—	1,608	930	678	73	24	49	70	24	46
85～89	—	—	—	2,054	970	1,084	45	16	29	61	13	48
90以上	—	—	—	4,009	1,276	2,733	22	4	18	37	10	27
総数	4,528	2,317	2,211	10,580	5,163	5,417	15,446	8,704	6,742	15,271	8,435	6,836

図7-1 5歳階級別県外転入者数

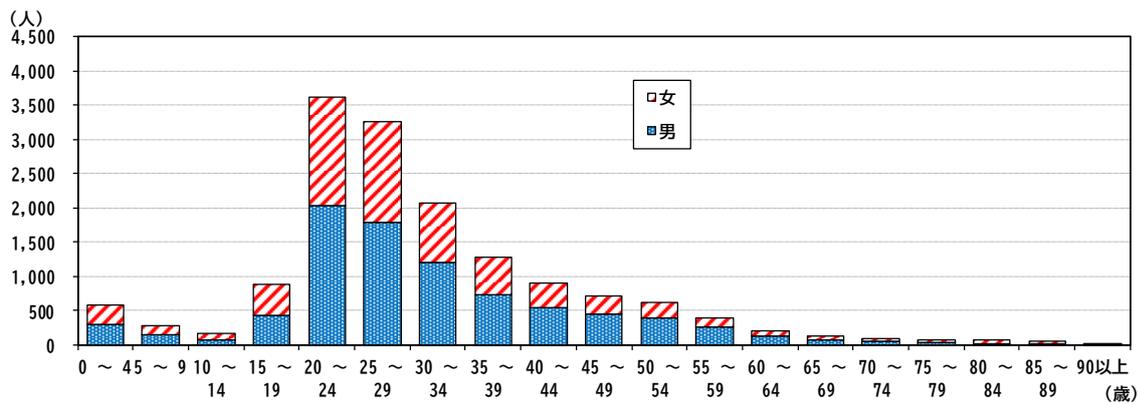


図7-2 5歳階級別県外転出者数

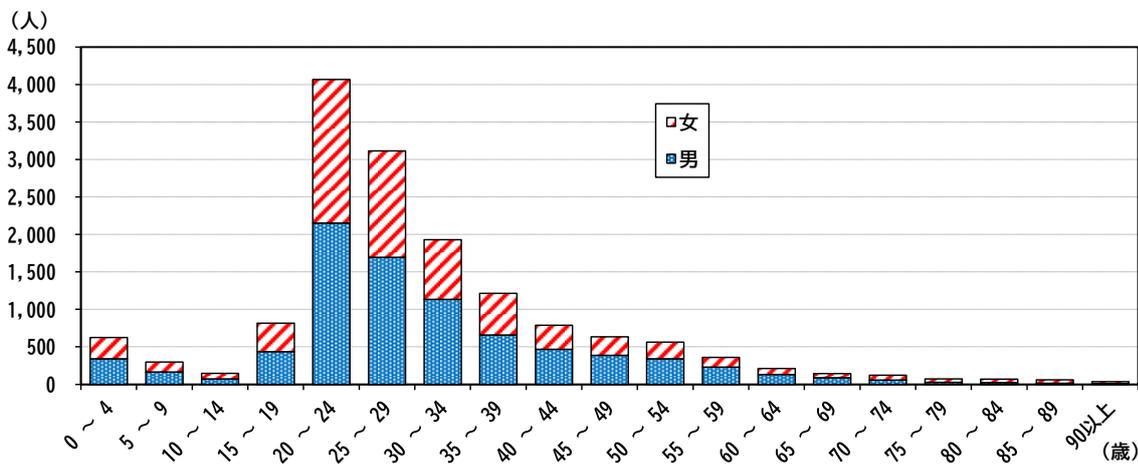
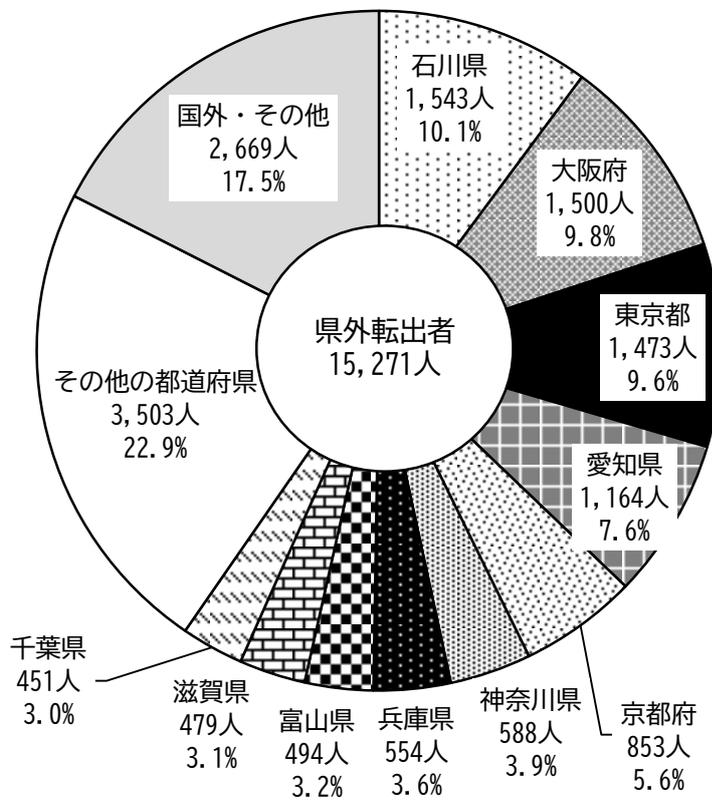
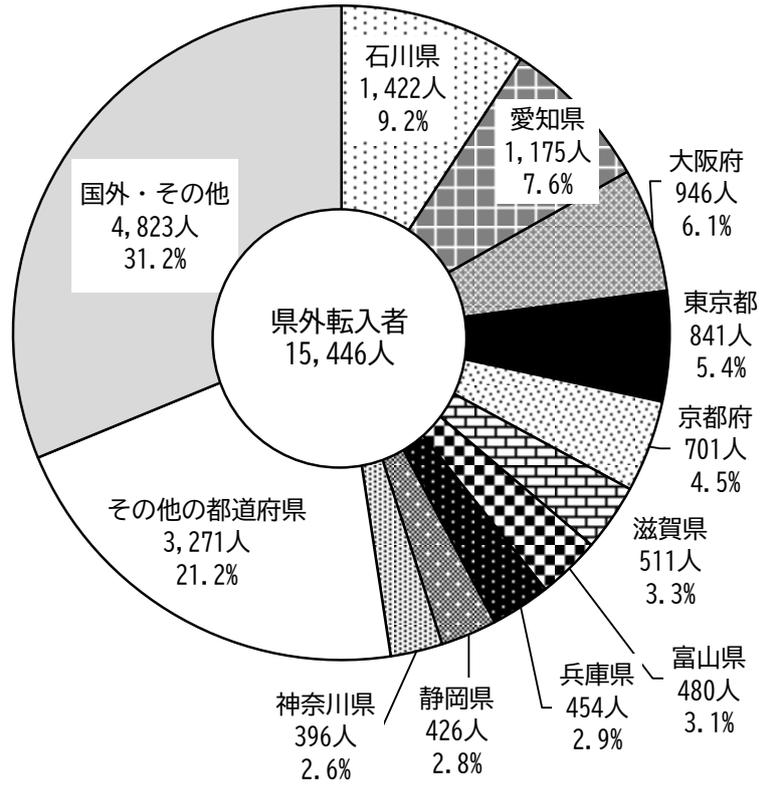


図8 県外転入前・転出先住所地内訳



2 年齢・男女別人口

(1) 年齢（5歳階級）別人口

福井県の人口を年齢5歳階級別にみると、50～54歳が54,586人と最も多く、次いで70～74歳53,042人、45～49歳49,491人の順となっている。

人口ピラミッドをみると、昭和22～24年（現75～77歳）の第1次ベビーブーム期までは若年層ほど人口が多い「富士山型」をしていたが、出生数の減少に伴い「つぼ型」に変化した。その後、昭和46～49年（現50～53歳）の第2次ベビーブーム期を経て出生数が再び減少し、現在は73～77歳と48～52歳を中心とした2つの膨らみを持つ「逆ひょうたん型」となっている。

人口を男女別にみると、男性が361,311人、女性が377,380人であり、女性が男性より16,069人多く、人口性比（女性100人に対する男性の数）は95.7となっている。

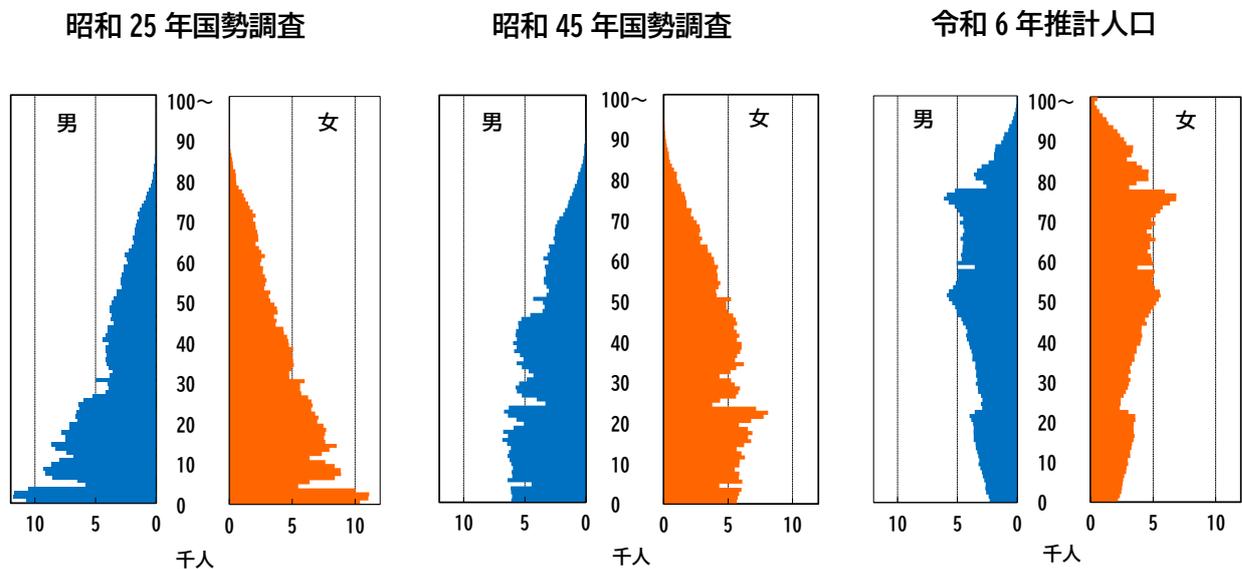
表4 男女別年齢5歳階級別人口

(単位：人、%)

年齢	男女計	男	女	性比	年齢	男女計	男	女	性比
0～4	24,708	12,610	12,098	104.2	50～54	54,586	27,835	26,751	104.1
5～9	28,974	14,930	14,044	106.3	55～59	47,472	23,594	23,878	98.8
10～14	32,640	16,753	15,887	105.5	60～64	46,895	23,053	23,842	96.7
15～19	35,575	18,287	17,288	105.8	65～69	47,691	23,071	24,620	93.7
20～24	32,324	17,379	14,945	116.3	70～74	53,042	25,288	27,754	91.1
25～29	29,979	16,012	13,967	114.6	75～79	49,079	22,682	26,397	85.9
30～34	33,138	17,246	15,892	108.5	80～84	37,567	15,856	21,711	73.0
35～39	37,743	19,356	18,387	105.3	85～89	24,795	8,945	15,850	56.4
40～44	42,380	21,541	20,839	103.4	90～	19,961	5,146	14,815	34.7
45～49	49,491	25,377	24,114	105.2	合計	738,691	361,311	377,380	95.7

(注)年齢不詳 男女計10,651人、男6,350人、女4,301人を計に含む。

図9 福井県の人口ピラミッド（男女別各歳）

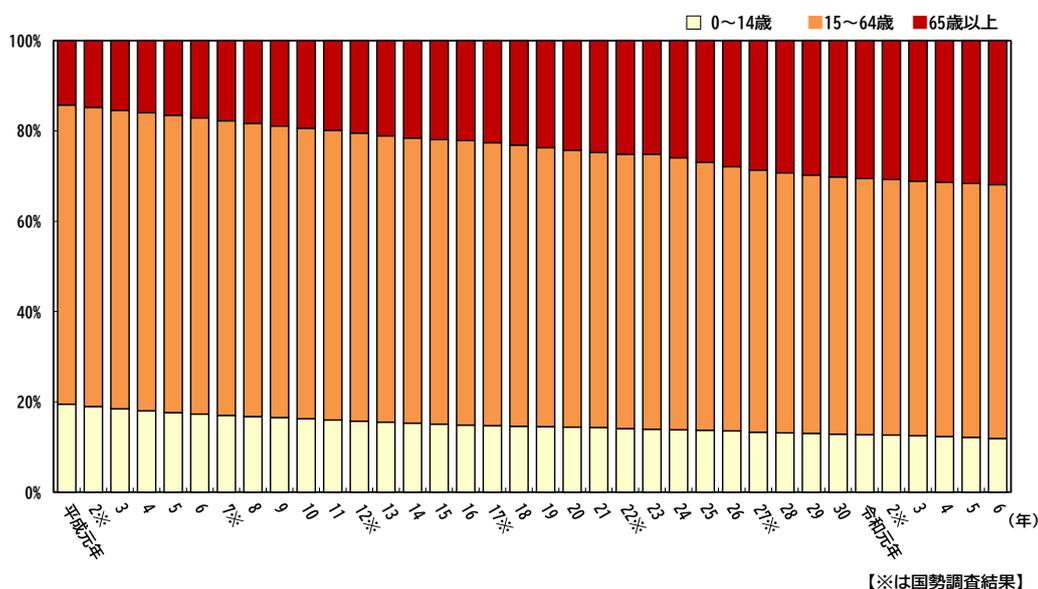


(2) 年齢（3区分）別人口

総人口を年齢3区分別にみると、令和6年の年少人口（0～14歳）は86,322人（11.9%）で、前年に比べて0.2ポイント減少、生産年齢人口（15～64歳）は409,583人（56.3%）であり、前年と変わらない。老年人口（65歳以上）は232,135人（31.9%）であり、前年と比べて0.3ポイント増加した。

また、人口の高齢化の程度を示す指数である老年化指数（年少人口に対する老年人口の比率）は268.9となっており、平成7年に老年人口が初めて年少人口を上回って以降、毎年上昇を続けている。

図10 年齢（3区分）別人口の推移（平成元年～令和6年）



【※は国勢調査結果】

表5 年齢（3区分）別人口の推移（平成元年～令和6年）

(単位:人、%)

区分	年齢構成別人口			構成割合			老年化指数
	0～14歳	15～64歳	65歳以上	0～14歳	15～64歳	65歳以上	
平成元年	160,475	546,131	117,337	19.5	66.3	14.2	73.1
2※	155,998	545,297	121,940	18.9	66.2	14.8	78.2
3	152,112	545,414	127,055	18.4	66.1	15.4	83.5
4	148,626	545,024	131,865	18.0	66.0	16.0	88.7
5	145,617	545,144	136,799	17.6	65.9	16.5	93.9
6	143,479	544,816	142,022	17.3	65.6	17.1	99.0
7※	140,593	539,592	146,728	17.0	65.3	17.7	104.4
8	138,624	537,615	151,927	16.7	64.9	18.3	109.6
9	136,966	535,779	156,516	16.5	64.6	18.9	114.3
10	134,951	534,162	161,233	16.3	64.3	19.4	119.5
11	132,658	533,185	165,296	16.0	64.2	19.9	124.6
12※	130,143	529,017	169,489	15.7	63.8	20.5	130.2
13	128,279	525,455	174,473	15.5	63.4	21.1	136.0
14	126,329	523,198	178,463	15.3	63.2	21.6	141.3
15	124,528	520,980	181,307	15.1	63.0	21.9	145.6
16	122,588	520,112	182,885	14.8	63.0	22.2	149.2
17※	120,745	513,858	185,501	14.7	62.7	22.6	153.6
18	119,297	509,209	188,981	14.6	62.3	23.1	158.4
19	118,031	503,513	193,166	14.5	61.8	23.7	163.7
20	116,860	497,371	196,760	14.4	61.3	24.3	168.4
21	115,447	491,666	199,988	14.3	60.9	24.8	173.2
22※	112,192	485,409	200,942	14.0	60.8	25.2	179.1
23	110,816	484,729	199,900	13.9	60.9	25.1	180.4
24	109,166	476,832	205,358	13.8	60.3	26.0	188.1
25	107,644	467,096	211,981	13.7	59.4	26.9	196.9
26	105,932	457,563	218,367	13.5	58.5	27.9	206.1
27※	102,986	451,409	222,408	13.3	58.1	28.6	216.0
28	101,322	444,857	226,116	13.1	57.6	29.3	223.2
29	99,805	439,896	228,691	13.0	57.2	29.8	229.1
30	98,058	435,182	230,554	12.8	57.0	30.2	235.1
令和元年	96,407	429,898	231,500	12.7	56.7	30.5	240.1
2※	95,544	427,984	232,684	12.6	56.6	30.8	243.5
3	93,533	422,742	233,283	12.5	56.4	31.1	249.4
4	91,386	418,233	232,706	12.3	56.3	31.3	254.6
5	88,940	412,845	232,132	12.1	56.3	31.6	261.0
6	86,322	409,583	232,135	11.9	56.3	31.9	268.9

(注1)平成元年から平成6年は、年齢不詳を年齢構成別人口に含めている。

【※は国勢調査結果】

(注2)平成7年以降の構成割合は、年齢不詳を除いて算出している。

3 世帯数 298,603 世帯（令和6年10月1日現在）

福井県の総世帯数は298,603世帯であり、前年と比べ3,093世帯（1.05%）増加した。また、1世帯当たり人員は2.47人であり、前年と比べ0.05人の減少となり、核家族や単身世帯の増加に伴い毎年減少を続けている。

図11 世帯数の推移（平成元年～令和6年）

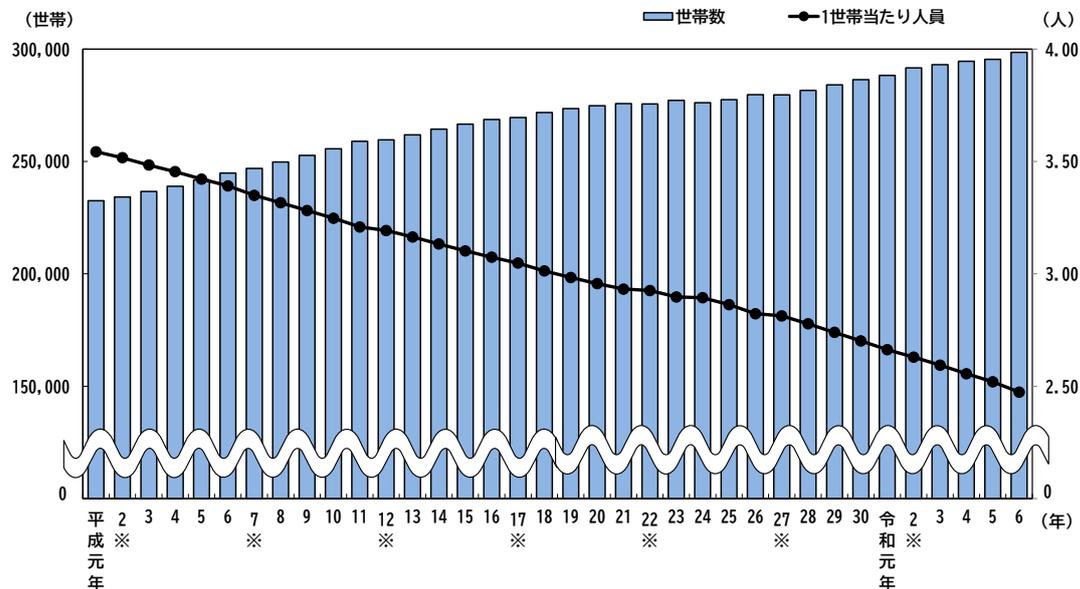


表6 世帯数の推移（平成元年～令和6年）

(単位:世帯、人、%)

区分	世帯数	増減数	増減率	1世帯当たり人員
平成元年	232,532	1,867	0.81	3.54
2※	234,192	1,660	0.71	3.52
3	236,662	2,470	1.05	3.48
4	238,960	2,298	0.97	3.45
5	241,865	2,905	1.22	3.42
6	244,821	2,956	1.22	3.39
7※	246,911	2,090	0.85	3.35
8	249,750	2,839	1.15	3.32
9	252,714	2,964	1.19	3.28
10	255,684	2,970	1.18	3.25
11	259,040	3,356	1.31	3.21
12※	259,612	572	0.22	3.19
13	261,845	2,233	0.86	3.16
14	264,393	2,548	0.97	3.13
15	266,603	2,210	0.84	3.10
16	268,671	2,068	0.78	3.07
17※	269,577	906	0.34	3.05
18	271,810	2,233	0.83	3.01
19	273,552	1,742	0.64	2.98
20	274,817	1,265	0.46	2.96
21	275,759	942	0.34	2.93
22※	275,599	△160	△0.06	2.93
23	277,218	1,619	0.59	2.90
24	276,183	△1,035	△0.37	2.89
25	277,510	1,327	0.48	2.86
26	279,774	2,264	0.82	2.82
27※	279,687	△87	△0.03	2.81
28	281,612	1,925	0.69	2.78
29	284,100	2,488	0.88	2.74
30	286,392	2,292	0.81	2.70
令和元年	288,356	1,964	0.69	2.66
2※	291,662	3,306	1.15	2.63
3	293,092	1,430	0.49	2.59
4	294,642	1,550	0.53	2.56
5	295,510	868	0.29	2.52
6	298,603	3,093	1.05	2.47

【※は国勢調査結果】

4 市町人口

人口が最も多いのは福井市の 254,776 人であり、県全体の 34.5%を占める。次いで坂井市 86,027 人、越前市 78,551 人となっている。

(1) 人口増減

越前市を除くすべての市町において、昨年に比べ人口が減少した。

人口増減率は、越前市が 0.67%と最も高く、次いで鯖江市△0.21%、坂井市△0.67%となっている。最も減少率が高いのは池田町の△2.14%であり、次いで大野市△2.07%、勝山市△1.91%となっている。

広域圏単位で見ると、すべての広域圏で減少しており、最も減少率が高いのは奥越の△2.00%であり、次いで嶺南△1.27%となっている

表7 地区・市町別人口および増減率

(単位：人、%)

	人口	増減数	増減率
県 計	738,691	△ 5,877	△ 0.79
福井地区	273,083	△ 2,192	△ 0.80
福 井 市	254,776	△ 1,930	△ 0.75
永平寺町	18,307	△ 262	△ 1.41
坂井地区	112,184	△ 874	△ 0.77
あわら市	26,157	△ 293	△ 1.11
坂 井 市	86,027	△ 581	△ 0.67
奥越地区	49,476	△ 1,010	△ 2.00
大 野 市	28,844	△ 609	△ 2.07
勝 山 市	20,632	△ 401	△ 1.91
丹南地区	176,062	△ 158	△ 0.09
鯖 江 市	67,305	△ 140	△ 0.21
越 前 市	78,551	525	0.67
池 田 町	2,148	△ 47	△ 2.14
南越前町	9,170	△ 147	△ 1.58
越 前 町	18,888	△ 349	△ 1.81
嶺南地区	127,886	△ 1,643	△ 1.27
敦 賀 市	61,589	△ 663	△ 1.07
小 浜 市	27,711	△ 319	△ 1.14
美 浜 町	8,571	△ 137	△ 1.57
高 浜 町	9,662	△ 156	△ 1.59
おおい町	7,409	△ 124	△ 1.65
若 狭 町	12,944	△ 244	△ 1.85

図12 市町別人口増減率（その1）

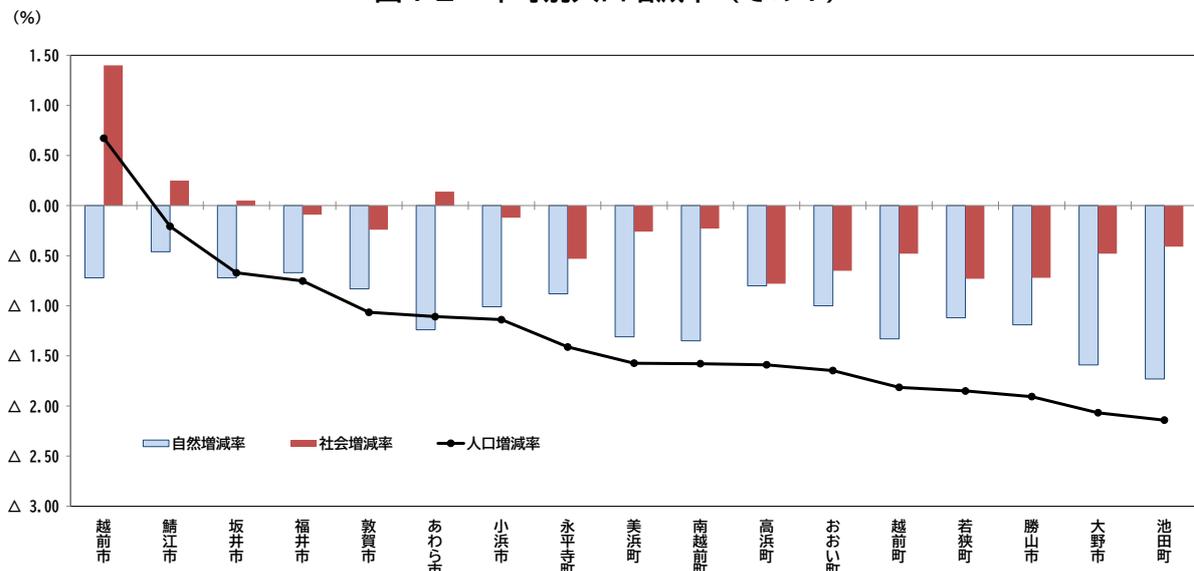
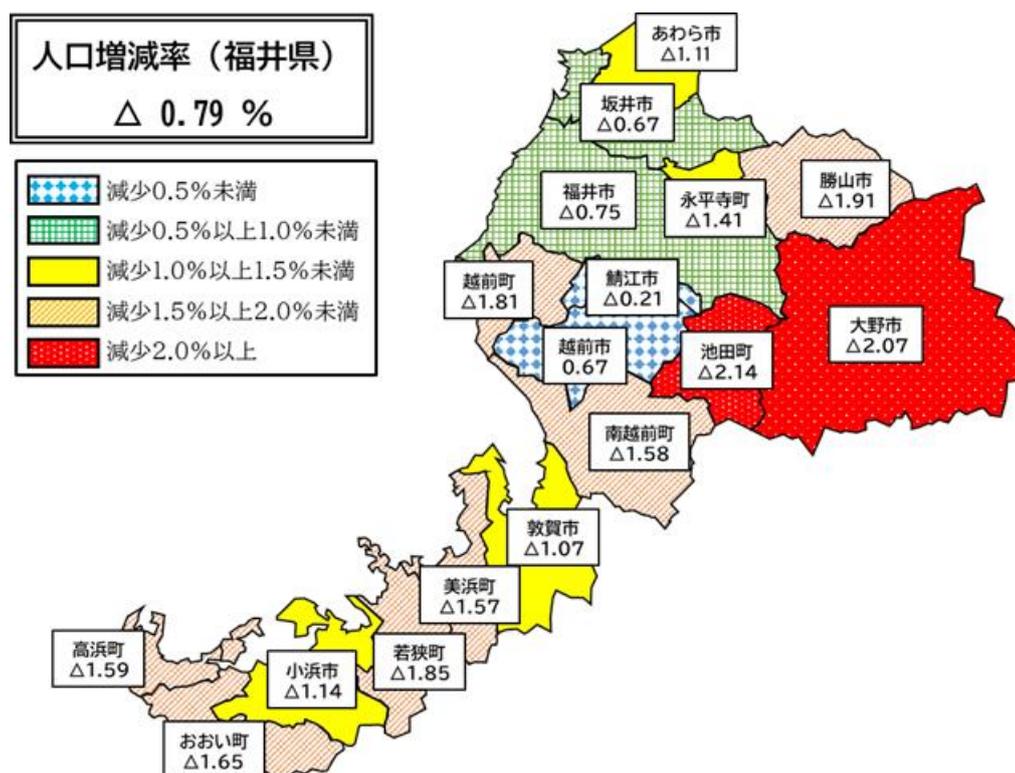


図13 市町別人口増減率（その2）



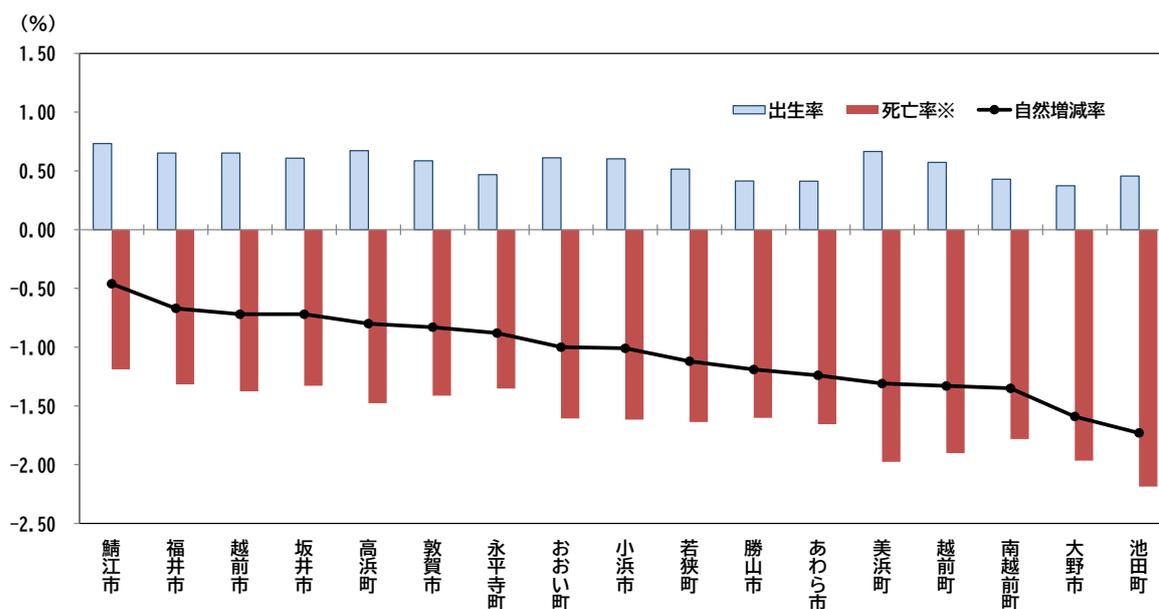
(2) 自然動態

自然増減率はすべての市町でマイナスとなり、最も減少率が低いのは鯖江市の $\Delta 0.46\%$ であり、次いで福井市 $\Delta 0.67\%$ 、越前市 $\Delta 0.72\%$ となっている。最も減少率が高いのは池田町の $\Delta 1.73\%$ であり、次いで大野市 $\Delta 1.59\%$ 、南越前町 $\Delta 1.35\%$ となっている。

出生率は、鯖江市が 0.73% と最も高く、次いで美浜町、高浜町が 0.67% となっている。最も低いのは大野市の 0.37% であり、次いで勝山市、あわら市が 0.41% となっている。

死亡率は、池田町が 2.19% と最も高く、次いで美浜町 1.98% 、大野市 1.97% となっている。最も低いのは鯖江市の 1.19% であり、次いで福井市 1.32% 、坂井市 1.33% となっている。

図14 市町別自然増減率



※死亡率は、人口減少の要因としてマイナスで表記。

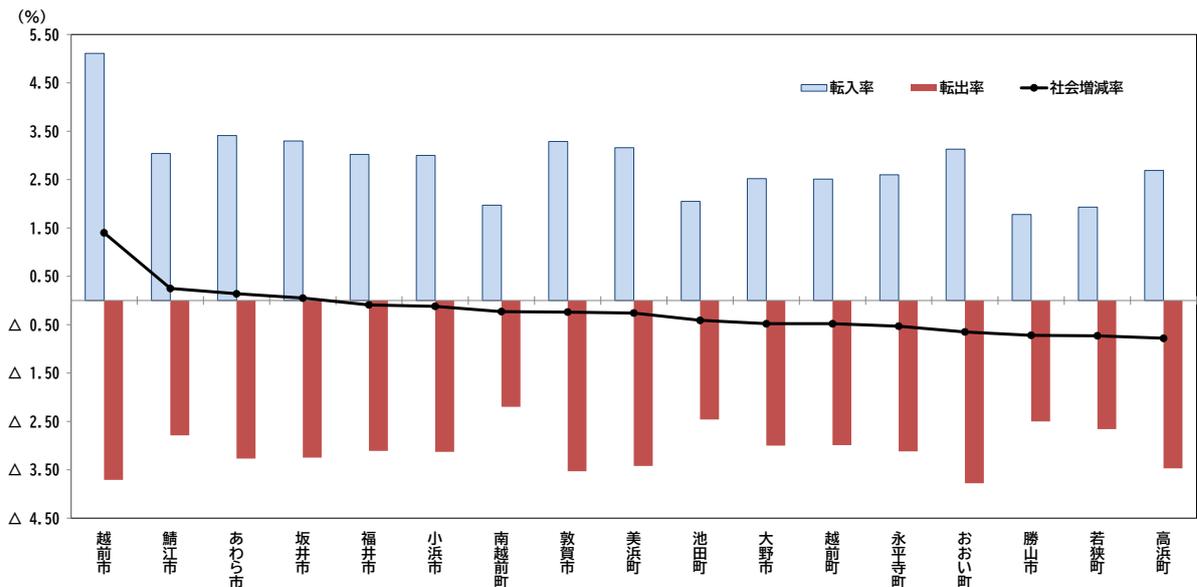
(3) 社会動態

社会増減率がプラス（＝転入超過）になったのは4市であり、最も高いのは越前市が1.40%、次いで鯖江市が0.25%、あわら市が0.14%、坂井市が0.05%となった。他の13市町はマイナス（＝転出超過）になっており、最も低いのは高浜町の△0.78%であり、次いで若狭町が△0.73、勝山市が△0.72%となった。

転入率は、越前市が5.11%と最も高く、次いであわら市が3.41%、坂井市3.30%となっている。最も低いのは勝山市の1.78%であり、次いで若狭町1.93%、南越前町1.97%となっている。

転出率は、おおい町が3.78%と最も高く、次いで越前市3.71%、敦賀市3.53%となっている。最も低いのは、南越前町の2.20%であり、次いで池田町2.46%、勝山市2.50%となっている。

図15 市町別社会増減率

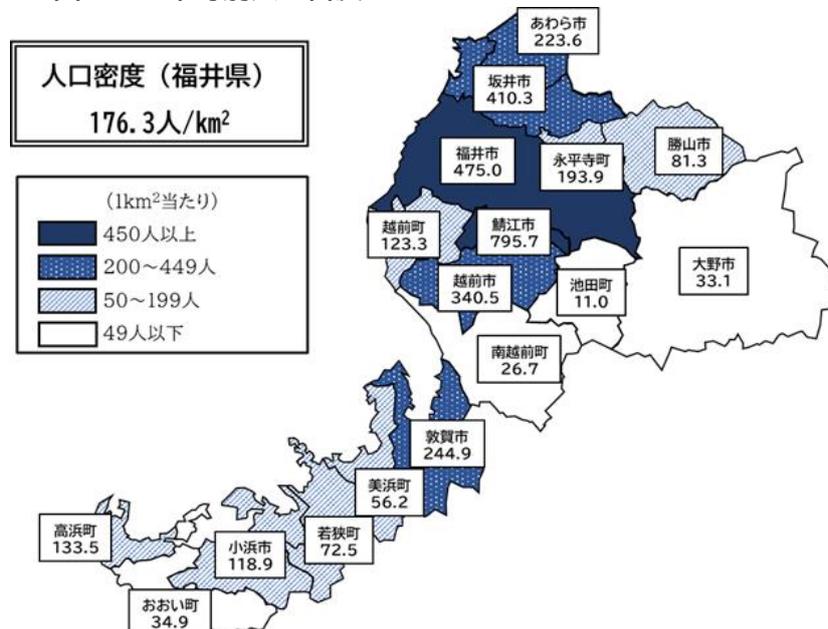


※転出率は、人口減少の要因としてマイナスで表記。

(4) 人口密度

面積1km²当たりの人口密度は、鯖江市が795.7人で最も高く、次いで福井市475.0人、坂井市410.3人となっている。最も低いのは池田町の11.0人であり、次いで南越前町26.7人、大野市33.1人となっている。

図16 市町別人口密度



(5) 年齢（3区分）別人口

年少人口（0～14歳）の割合が最も高いのは鯖江市の13.3%であり、次いでおおい町13.0%、坂井市12.3%となっている。最も低いのは池田町の7.4%であり、次いで大野市が10.1%、勝山市が10.2%となっている。

生産年齢人口（15～64歳）の割合が最も高いのは鯖江市の58.5%であり、次いで永平寺町が58.1%、福井市57.6%となっている。最も低いのは池田町の46.1%であり、次いで南越前町49.0%、勝山市、若狭町の49.9%となっている。

老年人口（65歳以上）の割合が最も高いのは池田町の46.5%であり、次いで南越前町が40.1%、勝山市が40.0%となっている。最も低いのは鯖江市の28.3%であり、次いで坂井市30.3%、福井市30.4%となっている。

老年化指数（老年人口の年少人口に対する比率）が最も高いのは池田町の627.7であり、次いで大野市396.0、勝山市393.3となっている。最も低いのは鯖江市の213.3であり、次いで坂井市246.8、越前市252.5となっている。

図17 市町別年齢（3区分）別人口の割合

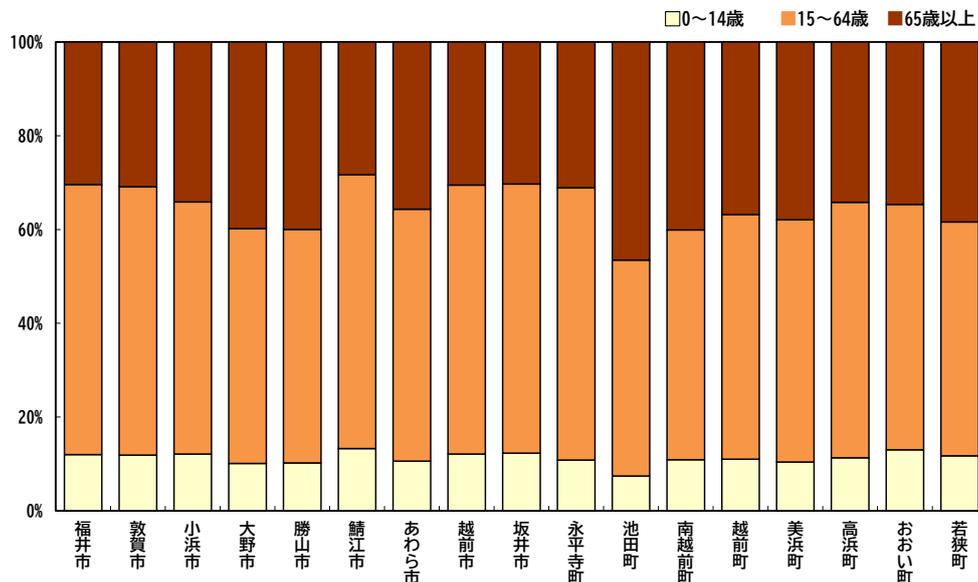
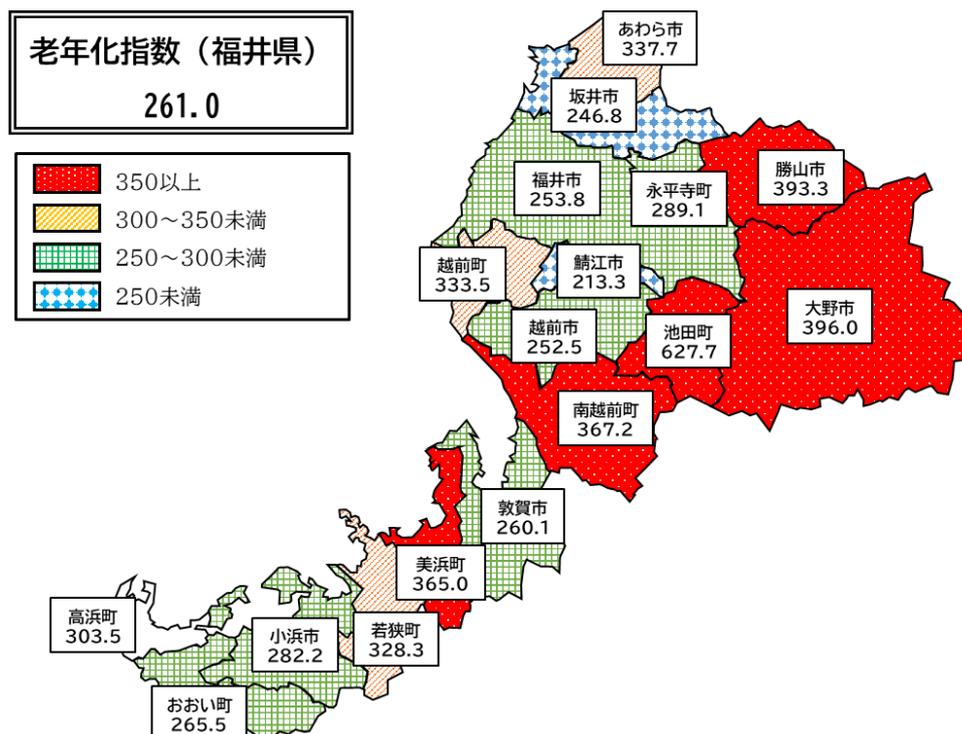


図18 市町別老年化指数



(6) 世帯数

世帯数が最も多いのは福井市の107,801世帯であり、県全体の36.1%を占めている。次いで坂井市32,287世帯、越前市30,646世帯となっている。

増減率は、越前市が3.32%と最も高く、次いで鯖江市1.91%、あわら市1.10%となっている。最も低いのは、池田町の△1.20%であり、次いで越前町が△0.65%、大野市が△0.12%となっている。

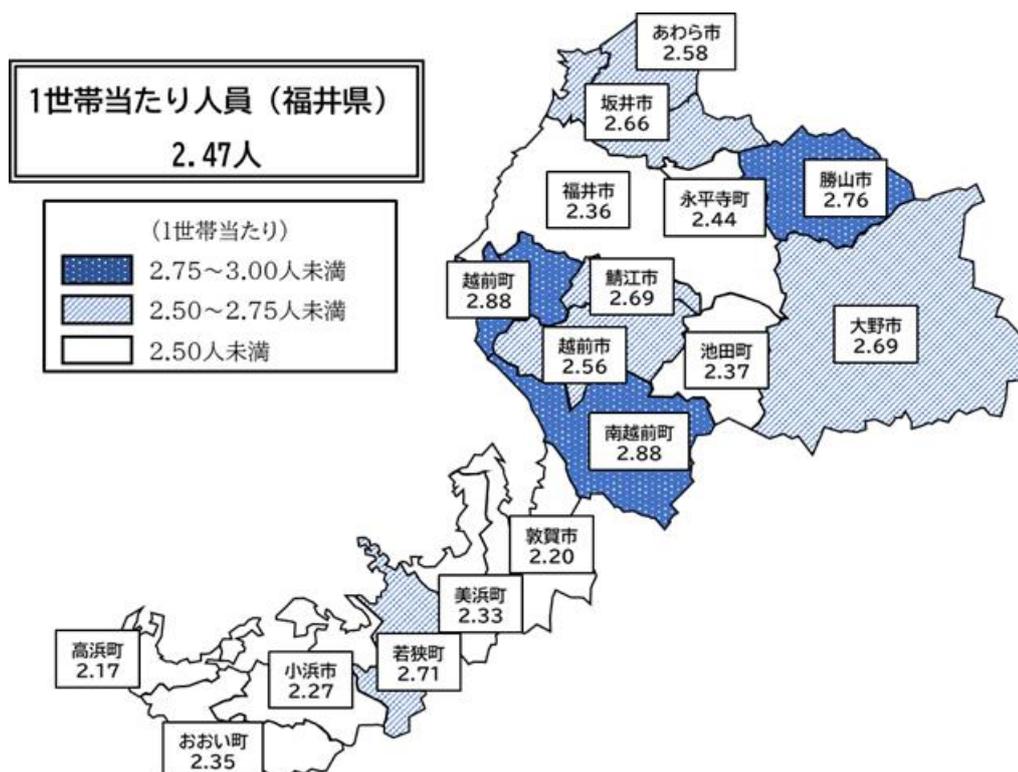
1世帯当たり人員が最も多いのは、南越前町、越前町の2.88人であり、次いで勝山市2.76人となっている。最も少ないのは、高浜町の2.17人であり、次いで敦賀市2.20人、小浜市2.27人となっている。

表8 市町別世帯数

(単位：世帯、%)

	世帯数	増減数	増減率
県 計	298,603	3,093	1.05
福 井 市	107,801	1,103	1.03
敦 賀 市	28,057	108	0.39
小 浜 市	12,206	37	0.30
大 野 市	10,731	△ 13	△ 0.12
勝 山 市	7,480	20	0.27
鯖 江 市	25,067	469	1.91
あ わ ら 市	10,133	110	1.10
越 前 市	30,646	984	3.32
坂 井 市	32,287	309	0.97
永 平 寺 町	7,488	7	0.09
池 田 町	908	△ 11	△ 1.20
南 越 前 町	3,189	△ 1	△ 0.03
越 前 町	6,561	△ 43	△ 0.65
美 浜 町	3,676	8	0.22
高 浜 町	4,443	4	0.09
お お い 町	3,150	0	0.00
若 狭 町	4,780	2	0.04

図19 市町別1世帯当たり人員



5 外国人人口

本県の外国人人口は、令和6年10月1日現在16,745人であり、県全体の2.3%を占めている。外国人人口が最も多いのは越前市で5,266人であり、次いで福井市4,810人、坂井市1,666人となっている。

本県の外国人人口は令和5年10月1日から令和6年9月30日までの1年間に2,478人増加した。市町別にみると、永平寺町、池田町、越前町を除くすべての市町において、昨年と比べて人口が増加した。

図20 外国人人口・外国人増減率の推移（平成2年～令和6年）

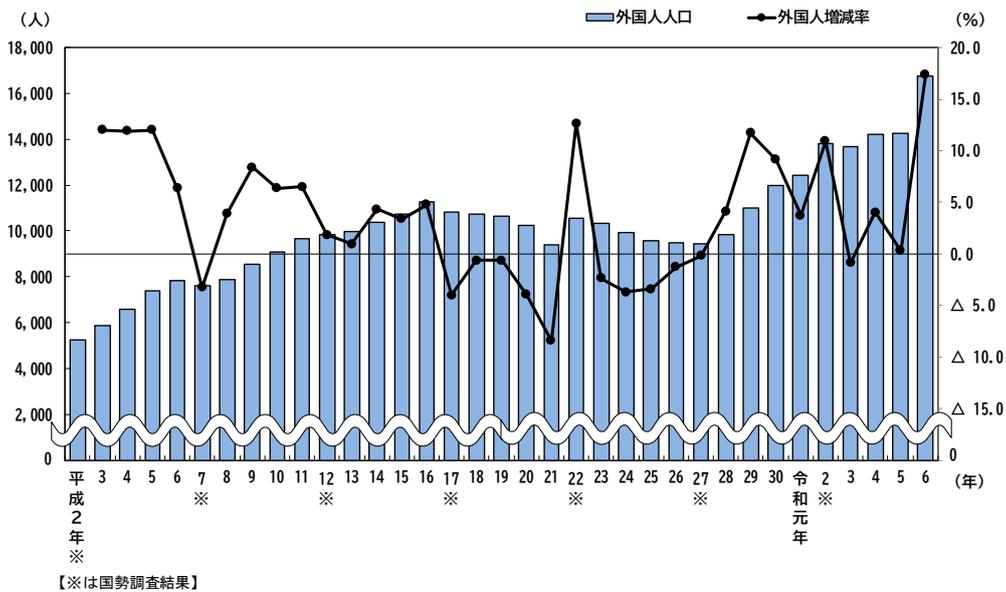


表9 地区・市町別外国人人口および増減数・増減率

（単位：人、%）

	外国人人口	自然増減数	社会増減数	増減数	増減率
県 計	16,745	47	2,431	2,478	17.37
福 井 市	4,810	2	487	489	11.32
敦 賀 市	1,022	0	162	162	18.84
小 浜 市	439	3	75	78	21.61
大 野 市	567	△ 1	73	72	14.55
勝 山 市	353	0	62	62	21.31
鯖 江 市	947	0	125	125	15.21
あ わ ら 市	666	0	89	89	15.42
越 前 市	5,266	41	1,149	1,190	29.20
坂 井 市	1,666	1	151	152	10.04
永平寺町	245	1	△ 1	0	0.00
池 田 町	13	0	△ 1	△ 1	△ 7.14
南越前町	83	△ 1	19	18	27.69
越 前 町	229	1	△ 8	△ 7	△ 2.97
美 浜 町	91	0	16	16	21.33
高 浜 町	155	0	12	12	8.39
お お い 町	84	0	13	13	18.31
若 狭 町	109	0	8	8	7.92

利用者のために

I 調査の目的等

この調査は、福井県における人口移動および世帯の実態を明らかにすることを目的とし、国勢調査の結果を基に令和5年10月から令和6年9月までの動きについて令和6年10月1日現在でまとめたものである。

II 用語の解説

1 出生数、死亡数、転入者数、転出者数

日本人、外国人ともに市町からの「人口統計調査報告」で把握した、各月ごとの住民基本台帳の変更数である。

2 自然増減………「期間中の出生数」－「期間中の死亡数」

3 社会増減………「期間中の県外からの転入者数」－「期間中の県外への転出者数」

ただし、市町の場合、「期間中の市町外転入者数」－「期間中の市町外転出者数」を用いる。

$$4 \text{ 人口増減率} = \frac{\text{人口増減数}}{\text{令和5年10月1日現在人口}} \times 100$$

$$5 \text{ 自然増減率} = \frac{\text{自然増減数}}{\text{令和5年10月1日現在人口}} \times 100$$

$$6 \text{ 出生率} = \frac{\text{出生数}}{\text{令和5年10月1日現在人口}} \times 100$$

$$7 \text{ 死亡率} = \frac{\text{死亡数}}{\text{令和5年10月1日現在人口}} \times 100$$

$$8 \text{ 社会増減率} = \frac{\text{社会増減数}}{\text{令和5年10月1日現在人口}} \times 100$$

$$9 \text{ 転入率} = \frac{\text{県内と県外の転入計}}{\text{令和5年10月1日現在人口}} \times 100$$

(市町別指標)

$$10 \text{ 転出率} = \frac{\text{県内と県外の転出計}}{\text{令和5年10月1日現在人口}} \times 100$$

(市町別指標)

$$11 \text{ 老年化指数} = \frac{\text{65歳以上人口}}{\text{0~14歳人口}} \times 100$$

注意

- 1 本文および図表中の数値は、表章単位未満で四捨五入している。本文および図表中の値は、表章単位未満を含んだ数値から算出している。
- 2 市町では、住民基本台帳に基づく人口を人口として公表している場合が多く、国勢調査を基本にその後の増減で集計している県の推計人口とは異なっている。
- 3 県が公表している推計人口の出生、死亡数は、毎月1日から月末までの市町への届出日を基に、10月1日を基準日として1年間の動きを調査しているが、厚生労働省の「人口動態調査」は、各年の1月1日から12月31日までに出生、死亡した実数である。



福井県の推計人口

—令和6年10月1日現在—

令和7年（2025年）2月発行

編集・発行 福井県
未来創造部統計調査課
人口統計グループ

〒910-8580

福井市大手3丁目17番1号

電話 0776-20-0273（直通）

0776-21-1111（代表）

福井県統計調査課ホームページ

福井県の推計人口

検索